

田川地区の県立高校再編整備計画(第2次計画)及び庄内中高一貫校(仮称)に係る保護者等説明会
参加者アンケート結果 酒田市会場 (回答者 23 名/参加者 38 名=回答率 61%)

◆ 参加者の居住地

鶴岡市	酒田市	三川町	庄内町	遊佐町	その他	無回答	合計
3名	16名	3名	0名	0名	1名	0名	23名
13%	70%	13%	0%	0%	4%	0%	

◆ 参加者の立場(複数回答可)

幼稚園や保育園に通う子どもの保護者として	小学校に通う子どもの保護者として	中学校に通う子どもの保護者として	その他	無回答
6名	10名	0名	9名	0名

◆ 参加者の理由(複数回答可)

「田川地区の県立高校再編整備計画(第2次計画)」の内容を詳しく知りたかったから	「田川地区の県立高校再編整備計画(第2次計画)」に意見を述べたかったから	「庄内中高一貫校(仮称)」の内容を詳しく知りたかったから	「庄内中高一貫校(仮称)」に意見を述べたかったから	その他	無回答
11名	0名	19名	0名	0名	0名

◆ 「田川地区の県立高校再編整備計画(第2次計画)」の説明に対する理解

わかった	おおむねわかった	あまりわからなかった	わからなかった	無回答	合計
4名	18名	0名	0名	1名	23名
17%	78%	0%	0%	4%	

◆ 「田川地区の県立高校再編整備計画(第2次計画)」についての主な意見・感想

- 少子化により、再編はやむを得ないと考える。
- 庄内総合高校定時制について、編入学の時期が酒田西高校は4月と6月であるので、庄内総合高校は、4月と6月を除いた月にしてほしい。
- あくまで「田川地区の県立高校」という視点で練られているが、庄内総合高校、鶴岡中央高校は、酒田・飽海地区の生徒にとっても無関係ではないので、校舎制はもっと検討が必要と考える。「登校場所と下校時にいる場所が基本的に鶴岡中央高校」だと、不便に感じるケースは出てくると思う。
- 酒田・飽海地区でも、将来は酒田東高校と酒田西高校の統合を計画しているのか気になる。
- 2024年度に、酒田西高校普通科が1学級減の計画とされているが、基本として、望ましい規模として学級数4を守っていただきたい。望ましい学校の部活動・学校行事等が難しくなるので、再検討願いたい。

◆ 「庄内中高一貫校(仮称)」の説明に対する理解

わかった	おおむねわかった	あまりわからなかった	わからなかった	無回答	合計
3名	13名	6名	0名	1名	23名
13%	57%	26%	0%	4%	

◆ 「庄内中高一貫校(仮称)」への主な期待・意見・感想

- 紆余曲折がありながら、ようやくここまでまとめていただき感謝したい。でも、これからが本番。田川地区だけでなく、庄内地区全体において役に立つ内容にしていきたい。新しい試みの庄内総合高校(全国でもまれな学校)、中高一貫教育校の中身を充実させていきたい。
- 庄内中高一貫校(仮称)の教育理念、人材育成の方針等が不明である。
- 開校年度を明確にしてほしい。できるだけ令和6年度に開校できるようお願いしたい。
- 関東圏の進学校の児童と遜色ない学力を身に付けさせたいので、なるべく早い時期の開校を望む。学力検査は実施しないとのことだったが、より高い水準を目指すのであれば、学力検査を実施してふるいにかけるべきだと思う。
- 受験競争の低年齢化などの反対意見を丁寧に拾ってほしい。私見だが、適性検査は、今言われている探究的な学力をみる総合問題として捉えられているので、適性検査をやらずに、調査書と作文に加えて、慶應義塾大学のAO入試のようにエントリーシートで、「今までやってきたこと」「入学したらやりたいこと」「将来やりたいこと」などを、単なる面接ではなく、入学希望者がプレゼンする方法を取り入れれば、「塾などの学習産業」が介入する余地が少なくなると考える。
- 入学者選抜において、小学校の成績が点数につながるとすると、小学校の担任の先生の評価基準として、どうしたら3になるのかを示してほしい。
- 入学者選抜が学力検査以外の方法ということがわかっただけでも一歩進んだ。その反面、「何が基準なのか」という疑問があり、引き続き見守っていきたい。教科に英語が入っていないが、そうなのか。
- 中学校は、いくつの小学校から入学することになるのか。それによって、中学校の学級編制ができなくなることはないのか。小学校8教科というが、庄内中高一貫校(仮称)が立ち上がる頃には英語も加えて9教科になるのではないのか。中高の教員の連携について、合同会議はあるのか、中高の先生の交流はあるのか。
- 中学校の入学者を男女同数程度とする理由を聞きたい。
- すでに東桜学館中学校・高校があるので、基本的には「庄内一円から募る」ことになると思う。通学手段について、例えば、スクールバスなどのサポートを検討してもらわないと、酒田から鶴岡への移住も考える世帯も出てくると思う。教育という問題だけではなく、酒田と鶴岡の人口のバランスに影響する可能性があるため、地域間格差を生まないように、配慮・検討をお願いしたい。

- 仮に開校年度を令和7年に設定した場合に、どのような中高生が在籍しているのかが分かるイメージ図が欲しかった。移行していく高校生についてもより多くの説明があると良かった。開校年度が定まっていないので、開校がずれた場合の対応として、Q&Aのような資料があると良かった。
- 酒田市にも中高一貫教育校の開校を考えてほしい。

以上